

Medi-Wave ひょうご

2012.4&5月

The magazine for medical students 2012

medi-k-affe新入生歓迎企画を開催!



← HELPのレクチャーをしてくれた中田医師(左)と高松医師(右)

HELP(Hospital Elder Life Program)とは?



The Hospital Elder Life Program (HELP)



米国老年医学会のインタレストグループのひとつとして活発に活動しており、世界中で採用され、せん妄の減少や医療費削減など様々な実績が報告されています。

高齢者にとって病院での生活は快適なものでしょうか?入院生活を通して認知や身体機能が低下し、もとのように生活できなくなったり、家に帰れなくなることもめずらしくはありません。

このような高齢者の入院における様々な機能低下を予防し、元気に家へ帰ってもらうためのボランティア参加型のプログラム(HELP)です。

尼崎医療生協病院では、HELP導入に向けボランティアの養成を開始しました。

2012年3月30日、尼崎医療生協病院で medi-K-affe 企画が開催され、6名の新入生を含む14名の医学生が参加しました。

「HELP」を学び、病棟でボランティアさんと一緒に患者さんとお話しをさせていただきました。参加者からは、患者さんとの会話をとおして、「自分はどんな医師になりたいのかを改めて考えました。今日の経験は一生忘れることはありません」と感想を話してくれました。

注目記事

受験生アンケート集計結果



2012年

受験生アンケート集計結果

受験生のみなさんにご協力いただいたアンケートの集計結果を発表します。

神戸大学（AO試験・前期試験）と兵庫医科大学（一般試験・センター利用試験）を受験されたみなさんに回答してもらいました（総回答数は284名でした）。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

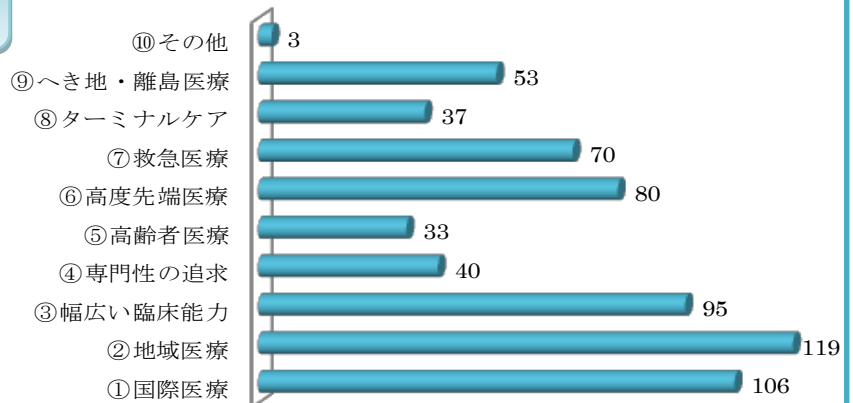
受験生のみなさんは、どんなことに関心があったのかな？



将来どんな医療に携わりたいですか？ （複数回答可）

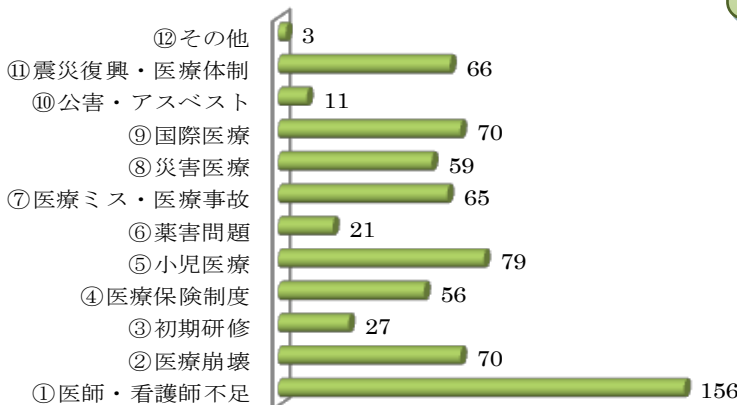
1番多かったのは「②地域医療」で、「①国際医療」「③幅広い臨床能力」が続いています。大学別に見てみると、神戸大学では「①国際医療」、兵庫医科大学では「②地域医療」が多かったです。大学のカラーが出ている結果となりました。

「③幅広い臨床能力」は、国際医療においても地域医療においても、重要とされる力ですね。



医学・医療に関してあなたが関心のあること、 ご意見をお書きください。（複数回答可）

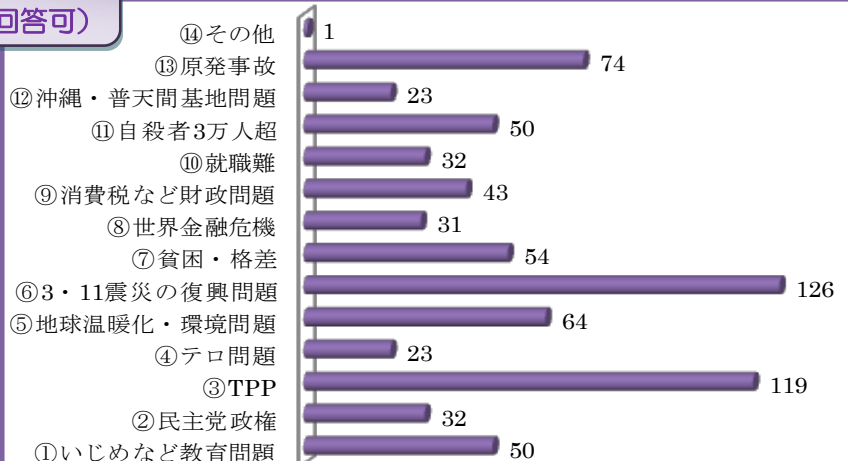
トップは「①医師・看護師不足」。
医師にとっても、医学生にとっても、日本国民にとっても、重大な問題です。
人口1000人あたりの医師数を見てみると、日本は2.2人。OECD平均に届くには、あと12万人強が必要だと言われています。
震災復興・医療再生をアピールするために、全国各地から医師や医学生が集まって、「ドクターズウォーク」も取り組まれています。これから医師になるみなさんが動くこともとても大切ですね。



医学・医療のこと以外で関心のある社会問題は 何ですか？（複数回答可）

「⑥3・11震災の復興問題」と「③TPP」の2つが、群を抜いて多くなる結果となりました。

私たちの生活と大きく関わる問題ですね。社会の中で起こっていることに関心を持ち、学び、考えることが、大切です。新聞やニュースを読む習慣を学生のうちに身につけるといいですね。



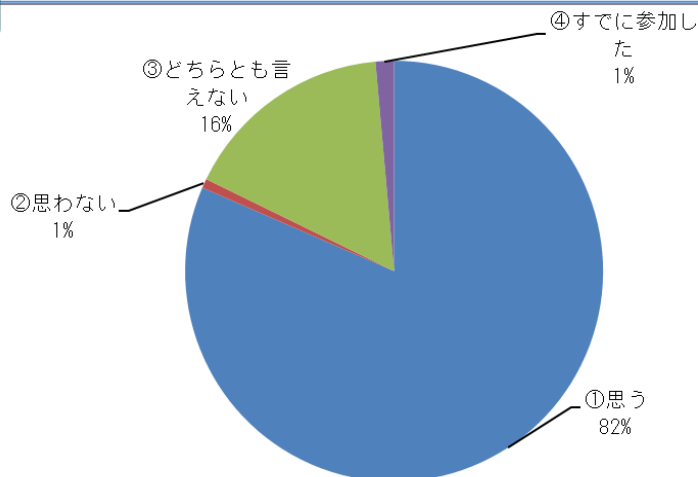
震災支援ボランティアに参加したいと 思いますか？

8割以上の受験生が、「①思う」と回答しています。

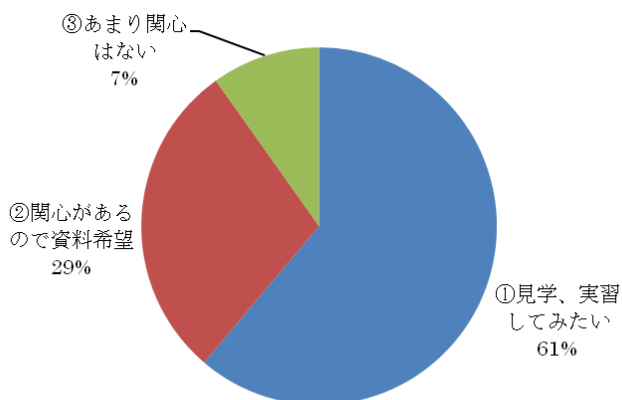
東日本大震災が発生してから、自分には何が出来るだろうか…被災地の方たちの役に立ちたい…などなど、日本中のみなさんが色々なことを思い、考えたのではないのでしょうか。

兵庫民医連では、被災地への医学生ボランティアも継続して派遣しています。

詳しくは、『別冊 Medi-Wave ひょうご』（震災特別号）をお読みください。

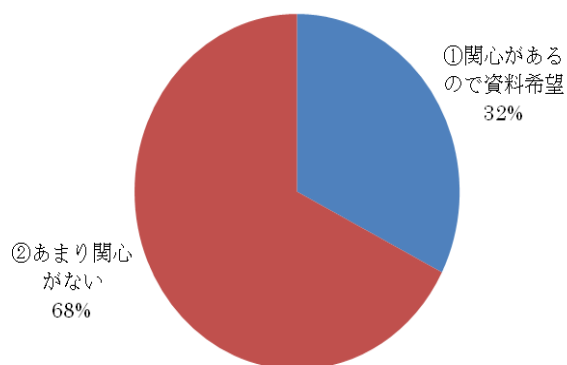


病院・診療所での「医師体験」について



9割の受験生のみなさんが、「医師体験」に関心を持っているようです。私たちの病院・診療所にもさっそく新入生のみなさんが実習に来てくれています。これからの医師像を考えるよい機会になればと思います。

民医連の奨学金制度について



3割の受験生の方が関心があると回答してくれました。最後のページの『奨学金貸付制度のご案内』も、ぜひご覧ください。

今回のアンケート結果では、みなさん、「幅広い臨床能力を身につけたい」と回答してくれています。そのヒントは、医療の現場にあります。兵庫民医連では、年間（平日のみ）を通して、1年生からでも病院・診療所での実習を受け付けています。みなさんが実習や様々な企画に参加されるのを楽しみにしています。お気軽にお問い合わせください☆

これから、医学部をチャレンジする受験生のみなさん。ぜひ夏休みの「1日医師体験」にご参加くださいね！

【TPPについて】～Trans-Pacific Partnership：環太平洋連携協定～

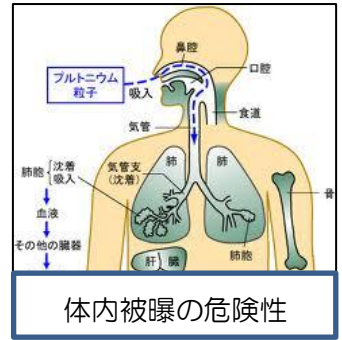
昨年と比べ、アンケートでも、TPPへの関心は他の項目より大きく増えています（昨年の回答数は17）。アメリカの巨大保険会社による圧力で『混合診療の全面解禁』による『自由診療化』が進み、日本の健康保険制度が崩壊するのでは？という意見が各医療団体、専門家から多く出ています。極端な例では、アメリカの保険会社が、『日本の健康保険制度のせいで営業妨害されている。』という損害賠償請求も起こりうる指摘しています。*ISD条項 またTPP実施後、自国産業を守るための規制見直しも禁止されます。 *ラチェット規定 これではまるで、経済の連携ではなく侵略ですよね。 *)その国の法律・規制<TPP

<混合診療とは？>現在の制度では、「保険がきく治療ときかない治療を同時にしてはいけない」と定めています。でもすでに、『差額ベッド代』や『紹介状がない場合の初診に関わる特別料金』などが<選定療養費>という名目で認められていますが…。 ☆)民医連では「差額ベッド代」等はいたいたいていません。

～民医連の医療と研修を考える～

医学生をつどい 第2回実行委員会 IN 東京

民医連の医療と研修を考える医学生をつどいは、毎年夏に400名を超える医学生、医師、研修医、医療従事者が参加し、学習・交流を行う企画です。医療と研修を学び、医師像を深め、「今求められている医療とはどんなものか?」「自分は将来どのような医師になるのか?」などを議論し、交流する場です。第2回実行委員会の目標は、「本番の学習テーマ決定」、「つどい目標の議論」、「講演やFWでの学びと実践を地元の活動につなげる」の3つでした。それでは第2回実行委員会をレポートしたいと思います!



1日目【学習講演】

立命館大学名誉教授、国際平和ミュージアム名誉館長

安齋 育郎 先生 「福島原発事故が私たちに求めるもの」

安齋先生は事故発生以前から原発に対する危険性を説き続け、今回は専門家の立場から福島第一原発事故における放射線の影響、実地で行われている対策などを聞かせていただきました。安齋先生は、東京大学原子力工学科の1期生であり、もともとは原子力エネルギーを日本に導入する立場をとられていました。しかし、原子力発電所の危険性、安全性に疑問をもち研究を行うなかで、科学者として反対の立場をとられました。そのことにより、東京大学では、教授によるアカデミックハラスメントを受け続けたそうですが、信念を曲げずに反対を貫き通しました。

安齋先生の講演では「医師は科学者。権力や、大きな力に否定された時、自分がどう行動をとるのかを悩んでほしい」という医学生に向けた言葉と、福島に住み、暮らしを続けていく方々を思った「食品を産地で恐れず、放射線を過度に恐れない、理性を持って恐れることが大事」という言葉が印象的でした。安齋先生は手品が非常に得意な先生でもあり、手品における「騙しのテクニック」を現実の諸問題と絡め、一面だけでない多面的なものの見方の大切さを語っていただきました。



講演する安齋先生



得意の手品を使い、人がいかに騙されやすいかを話してもらいました。

2日目【東京大田区在住の、子どもを持つお母さん方のお話】

2日目は大田病院で、子どもを持つお母さん方、8名からお話を聞かせていただきました。お母さん方は皆さん、放射線による影響、特に子どもの健康状態を気にかけておられました。「食の安全」に対する意識が、兵庫県で暮らす私たちとは全く違い、放射線被害に対して、非常に危機感をもっておられました。それに付随して生じる様々な問題として、「子どもに対する安全意識に母親間や夫婦間でも差異、軋轢がある。食や水の安全性が気になる。公表されている情報の信憑性はどうか」ということも語っていただきました。

そして、将来医師になる医学生に向けては、「お医者さんは最後の頼みの綱。訴える人の言葉に耳を傾ける、寄り添う気持ちをもってほしい」とメッセージをくださいました。お母さん方は、子どものことを心配する気持ちに溢れており、また、非常に勉強もしておられ、チェルノブイリ原発事故のベラルーシの医師の書籍を調べておられる方もいらっしゃいました。お話を聞いて、私たちも医療人として、「低線量被ばくによる人体への影響」をきちんと学ぶ必要があると感じました。



2日目【放射線測定FW】

放射線線量計を持って近郊の団地にて放射線測定を行いました。前日まで雨が降っていたこともあり、水の溜まりやすい雨どいの下や、排水溝の辺りで高い線量を記録しました。

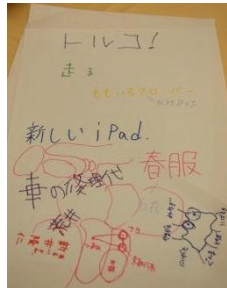
国内法では、一般人の年放射線許容量（国際基準と同じ）は、1 mSV 以下となっています。この年間許容量から逆算すると平均して0.11 μ SV/H 以下に抑えることが必要なのですが、測定では高めの結果が出たことで原発、放射線被害は遠い世界の話ではないと意識させられました。放射線測定中、団地の方々に様子を聞かれることも多く、地域の方々の関心が高いことも感じられました。

その後、測定結果を元に「線量マップ」を作成し、グループディスカッションをしました。午前中のお母さん方の話などから、一人ひとりが放射線の暮らしに与える影響を感じ、被ばくや原発についての考えを深めることができました。* (注) 計測は時間が足りなかったため、正確な数値が出る「5点計測法」で行なっていません。今回の調査で高い数値が出たところについては大田区に再調査依頼をしています。

青が線量が低く、それから緑、黄、赤の順に線量が高くなります。黄色以上のところが国の基準値以上です。赤のところも結構あり非常に驚きました。



2日目【大交流会!】



ワールドカフェで使ったメモ(^o^)/

医学生のつどいは、全国各地の医学生との交流も大きな魅力! 1日目は「交流会!」テーブルごとに学年別交流、2日目は「大交流会!!」として…ワールドカフェを行いました。

ワールドカフェとは…

本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話を行います。出された意見を否定することなく、尊重される場で、相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることにより、その場に一体感が生まれます。メンバーの組み合わせを変えながら、4~5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員と話し合っているかのような効果が得られます。

そして大交流会のテーマは非常にシンプル。「最近気になっていること」。砕けた話や、まじめな話も出来て楽しく交流ができました、(^o^)

3日目【SGD・テーマ決定】

今年のつどい本番の学習テーマについての投票結果が発表され、今年のつどいテーマは「**原発と医療**」に決定しました。他には「TPP」、「医師の生き方」、「情報と信頼性と国家の在り方」、「戦争放棄と平和教育」、「高度医療の治療費」などなどのテーマ案も候補にあげられました。今回決定したテーマを受けて、どんなつどいにしていくか、つどい目標をどんなものにするか、みんなで話し合いました。

テーマ投票で票数の多かった TPP については、6ページの「TPPって何?」で解説しています。読んでみてね。



第3回実行委員会は5月26日~27日で開催予定!
みんなの参加を待ってます!! ☆☆☆

特別企画☆ 女性医が語る



一口に「医師になる」と言っても、自分が理想とする医師になるための道ってたくさんありますよね。
さらに、女子学生にとっては、「医師として頑張りたい。でも、結婚もして、子どもだってほしい」ってことも考えたりしますよね。
兵庫民医連の病院・診療所では、たくさんの女性医師が活躍しています。お話を聞いてみました。

女性医が語る

仕事と家庭の両立 ——私の働き方

尼崎医療生協病院(東神戸病院、神戸協同病院)では女性医師が安心して働けるよう支援しています。女性医師の働く姿や家庭との両立をお伝えするために、女性医師3名(家庭医療後期研修医、産婦人科スタッフ医師、内科スタッフ医師)にお話しを聞きました。



子育てしながら働いて

三宅：お2人も忙しそうなんです、ご結婚されていてうらやましいなと思います(笑)。働いていみながら1番気になるころは、結婚して子どもがいても働けるのかということだと思います。実際に働きながら子育てをされていますが、大変じゃないですか？

田村：子どもは今、1才8ヶ月です。妊娠中は細々とした業務の中でいろいろ気遣っていただきました。それまでは必ず週に1、2回の当直がありましたが、妊娠中期の後半くらいには当直を外してくれました。出産後は、子どもが1才になるまでは業務軽減してもらいながら、当直もほとんどなしで、働かせてもらっていました。やってこられたのはやはり家族の支えもあって、病棟と一緒に



働いている人たちの理解もすごくあってのことだと思います。ただ、そのあたりのひずみが他のスタッフ医師に出ていたと思います。それでも「大事なことから」と色々配慮していただいたことはありがたいことでした。それと病院には先輩のお母さんがたくさんいるのでお昼休みに育児話で盛り上がりたりします。育児をしながら働いている人がすごく多い病院だし、病棟なので、楽しく過ごせています。困ったこともちょこちょこ相談できています。

三宅：高松先生は2人お子さんがいらっしゃるんですが、大変じゃないですか？

高松：私は6才と8才なので、田村先生のように子どもがまだおぼつかないという感じではなく、そういう意味では仕事の安定感があります。田村先生のお子さんくらいの時には「明日は子どもが熱を出して休むかもしれない」と思いながら、常に他の先生にもわかるようにという仕事の仕方をしていました。病児保育所にお世話になったことも結構ありましたし、旦那さんと連携したり、水

疱瘡のときなんかはそれぞれの実家の親にリレーで手伝ってもらいました。時々、何のために働いているのかと考えることがあります。こんなことまでして。でも、子どもたちには仕事をしているお母さんというのが当たり前だから、そこからいろいろと学んでいると思います。院内保育があることも大事なことです。職場の近くにきれいな環境でつくったということがよかったです。子どもを預かってもらってはじめて仕事ができるんです。今は電話1本で副総経理さんに「台風の警報が出ているのですが」と言う「連れてきて」と言ってもらえます。それはすごく助かります。

三宅：では、産まれてしまえばなんとかなると。

高松：なんとかなります。男の先生でも医局に子どもを連れてきておられますから。「ちょっとだけここにいなさい」と。最悪でもそういうようにすれば、まだ、田村先生のお子さんだとちょっと不安ですが、4、5才になってくれば「ちょっと、ここで絵を描いて」と言えばいいんです。



家庭医療専攻医
三宅麻由医師
2009年 香川大学卒



産婦人科
田村真希医師
2003年 弘前大学卒



内科(家庭医指導医)
高松典子医師
1999年 大分大学卒

働く女性医師を応援したい

医師国家試験の合格者の中で女性の割合は1/3を超え、将来的には女性医師の占める割合は4割以上になるとも言われています。ただ実際には、結婚や出産、子育てなどで休職し、ブランクを埋められないまま退職してしまう女



「初期臨床研修プログラムガイド」がリニューアル☆

研修の様子がよくわかると好評です。今回紹介した「女性医が語る」をはじめ、研修医の紹介、指導医が語るコーナーもあり、充実の内容。医師と直接話がしたい！という方は、ぜひ病院へいらしてくださいね。研修ガイドはホームページからも見ることができます。

兵庫民医連 医学生 で検索

URL : <http://www.hyogo-min.com/>

三宅：先生は診療所の所長をされているときは大変だったんじゃないですか？

高松：今から思うと最も過酷でした。天気心配や熱の心配に加えて、いつ呼び出されるかわからないという状況でした。そのときはもう必死ですから、自分の大変さがわかりませんでしたが、今、病院に来て集団の中で仕事をするとすごく楽です。ちゃんとカルテに書いておけば誰かがいてくれます。往診のお宅には、夜中に何回も連れて行きました。そんなこともあって人が死ぬことは子どもにとってすごく身近なことです。日曜日に公園で蝉取りをしていたら亡くなったという連絡が来たので、「帰るよ」「蝉は？」「蝉より大事よ」と(笑)。そういうふうになら何かを教えていけているんじゃないかと思っています。

自分らしい キャリアアップ

田村：今年の1月から1才前のお子さんがいる女性医師が後期研修に来られています。その先生の旦那さんもお医者さんで、専門医取得のための研修に来られます。そういう思いはすごく大事にしたいと思います。いろんなところで子育てしながらの研修を断られたそうです。ここには巡り巡った末に来られました。逆に、そういう先生だからこそうちの病院が応援できるし、大病院に比べたら症例の偏りはありますが、その人の意欲さえあれば仕事は続けていけると思います。



高松：私は今後、家庭医療の分野でいったん退いた人が現場に復帰するためのプログラムをつくりたいと思っています。3年では無理なのでゆとりのある伸ばした形で。家庭医も専門医制度になったので時間をかけて取得してもらうようなプログラムです。それをつくれるのは私だと思っています。関東にはあるのですが、西日本では女性の再就職の受け皿として大々的に打ち出しているところはないので、そういうものを女性医師の多いこの病院でつくりたいと思っています。

三宅：以前、奨学生会議に田村先生に来ていただいたときに、結婚や出産は自然の流れ的なものではあるけれど、そのタイミングをどこで取るのかという話があったことを覚えています。初期研修が2年間あって、そこで自分の結婚のタイミングはどうなっていて、出産はどうなのか。それによって研修がどんなふうになるのか。

田村：とにかくお医者さんというのは患者の命を守る責任のある職種なので、できることであればやはり妊娠や出産は計画的に考えて過ごしてもらいたいと思います。初期研修前から進みたい専門が決まっている人はいいのですが、まだ初期研修で専

門を決めかねている人はもちろんいると思います。結婚、出産に関しては働き方などの人生設計があれば考えやすいと思います。医学生の皆さんには学生の頃からいろんなお医者さんの背中を見ているような勉強と経験を経て、あらためて自分はどういう医者として将来やっていきたいかというビジョンをなるべく早いうちにもって、それに向けて自分のできることを考えてやっていってもらいたいなと強く思います。

三宅：家族計画が大事ということですね。

田村：はい、そうです。(笑)

三宅：学生さんはもし、結婚したい人がいて子どもをつくりたいと思ったときにつくれる環境かどうかというのをすごく心配しているのかなと思っています。専門医が取れるかどうかとか、研修中に子どもがつけられる環境なのか、終わってからなのかと、すごく気にしているんじゃないかと思うんです。

田村：そういう悩みがあるのなら、上級医に率直に相談すべきです。それを受け入れるシステムを持っているところもあれば、そうじゃないところもまだまだあるかもしれません。初期研修も2年で終わっている人もいれば、何年かかっている人もいます。何年かかってもいいと思ったり、がんばる意欲さえあればなんとかなるんじゃないでしょうか。



「Medi-Wave ひょうご」でも、「女性医師にインタビュー」を掲載してきました。詳しくは・・・

・2011年2&3月号
・2011年4&5月号
・2011年6&7月号
をご覧ください。ホームページでもバックナンバーを読むことができます☆

性医師も多く見られ、統計でも30代から女性の割合は急激に減少しています。**就労環境**
わたしたちは、女性医師が安心して働けるように、さまざまな支援を行っています。(細かな制度上の支援は各病院により異なります。気軽にご相談下さい。)

●勤務時間は柔軟に対応しています
勤務時間を短縮するなどして、働きに応じた賃金としています。勤務時間は相談に応じます。
●残業・当直が免除できます
子育て中の医師は、時間外、日当直を免除することができます。

●産休・育休制度があります
●院内保育所を完備しています
●女性専用更衣室を完備しています



春休み

医学生 実習レポート



春休みを利用して、たくさんの医学生が病院・診療所での実習に参加してくださいました。
参加してくれたみなさんの感想を紹介します。

【入学前から現場を知ろう!】

この春医学部に合格した1年生のみなさんがさっそく実習に来てくれました。
高校生の時に参加した医師体験より踏み込んだ内容に、医師への一歩を歩きだした
実感をもってもらえたようです。



三重大学1年生
鳥取大学1年生

＜スケジュール＞

午前 内視鏡見学・カルテ記載見学

午後 病棟カンファレンス・病棟回診見学

医師・看護師さんの普段の仕事を見ることができて、すごくモチベーションが上がり、勉強になりました。

大学に入学する前にとっても貴重な経験をしたと思います。とてもやる気がわきました。

カンファレンスで先生がそれぞれの患者さんの症状をとっても細かく把握しているのが印象的だった。
回診では患者さんといいい関係にあることをとても感じた。
自分もしっかりとコミュニケーションをとれるようにしたい。
医師の仕事は、自分が思っていたよりも大変そうだったが、とてもやりがいがありそうな感じであったので、これからしっかり勉強して良い医師になりたい。

神戸大学1年生

＜スケジュール＞

午後 病棟回診見学



高齢者の方がたくさん入院しておられた点が印象的だった。多くの病気を抱えている患者さんに対し、医師の方は、家庭の事情や退院後のことも考えながら治療方針を決定しているということを聞けたりできて良かった。

【研修医・指導医に密着して研修をイメージしよう!】

高学年のみなさんは、卒業後の進路を決めるため、研修を意識した実習を行いました。

京都府立医科大学5年生

<スケジュール>

午前 病棟実習（回診・診察等）

午後 病棟実習（カンファレンス参加など）



医学だけでなく医療を提供する場が臨床だということ、
実は、大学の講義で学んだことをそのまま当てはめられるわけ
ではないということを教えていただきました。

医師のみなさんの間近で、実際の業務を見学・実習させて
いただけて、改めて医師になるんだという自覚が強くなり、ま
た、現実には医学だけでは到底たちうちできない様々なこと
も一緒に学ばせていただけて、本当にためになりました。

病歴聴取で、疾病だけでなく、心理・社会的なことを
聞くのが難しいと思いました。担当させていただいた患
者さんが生活保護を受けておられ、退院後の通院が
困難ということで、そのような患者さんの治療や今後の
関わり方をどうしていくのか考えさせられました。

東京大学6年生
京都大学5年生

<スケジュール>

午前 回診、病棟実習（問診・身体診察等）

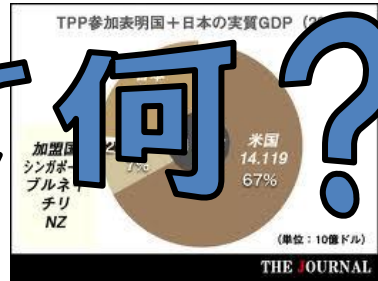
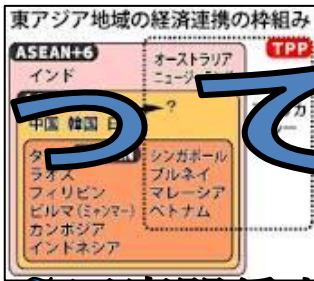
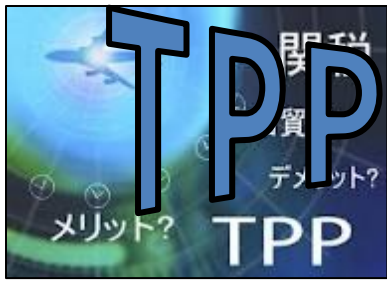
午後 カンファレンス準備、カンファレンス
回診など



患者さんの話を聞くこと、本当に患者さんのためにな
ることとは何なのかを考えさせられました。
自己満足で終わるだけでなく、患者さんに「この先生
で良かった」と思ってもらえるような医師を目指そうと
思いました。

兵庫民医連の病院・診療所では、みなさんの希望を聞いて実習プログラムを作っています。
みなさんもぜひ病院・診療所に来てくださいね☆

病院・診療所の見学・実習のお問い合わせ、お申し込みは igakusei@hyogo-min.com へのメール
または、ホームページから [兵庫民医連 医学生](#) で検索



医療関係者の中に不安が広がっている理由



①そもそもTPPとは？

太平洋をかこむ国々で、物品とサービスの貿易、人とお金の移動の制限をなくして経済連携を強めようとするものです。最大の特長は、国が輸出・輸入する際にかかる関税を全ての分野で全面的に撤廃することを原則にしていることです。農業や水産業に対して、外国から安価な農作物が入ってきた場合、日本の第一次産業は大打撃を受けることが予想されます。さらに TPP では、金融・保険・公共事業・医療保険制度・労働者の移動などにかんして、国民の生活や社会を守るためにある、制度や仕組みを「非関税障壁」として、撤廃・緩和されることとなります。

②医療への影響は？

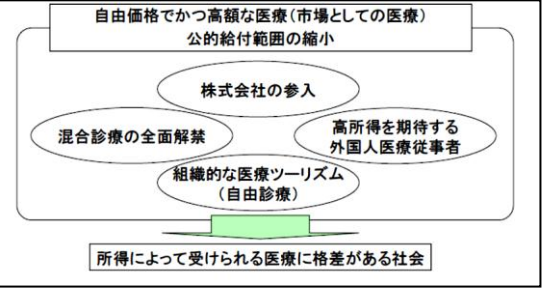
この間、アメリカの保険会社は、日本に対し「保険医療の対象の縮小」「公的医療保険制度から民間医療保険への移行」と日本の医療の市場化を再三にわたり要求してきました。したがってアメリカの医療保険会社は、TPP 導入を突破口にして、日本の公的医療保険制度の緩和・撤廃を求めると考えられます。2011年11月1日、野田首相が医療に対する規制の緩和について「対応が求められる可能性は完全には否定できない」と答弁したことに対して日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会は、翌11月2日、三会長の連名で「国民皆保険の維持を明言しない限り TPP 交渉参加を認めることはできない」との統一見解を発表しました。

③医師会が反対する理由は？

3月14日の定例記者会見で、日本医師会は改めて TPP 交渉参加に反対の立場を明確にしました。医師会が考える国民皆保険制度を守るための重要課題は
①公的な医療制度給付範囲を将来にわたって維持する
②混合診療を全面解禁しない
③営利企業（株式会社）を医療機関経営に参入させない
という3点です。

医療法人の診療報酬は公的医療保険が定める、診療点数に応じて決められています。そこで得た利益は、地域の医療を良くするための設備や人材に再投資していますが、営利目的の株式会社では、再投資とは別に株主に配当するための利益も必要となります。そうすると無理なコスト削減や、自由診療で収入を得ようとすると考えられます。そういった病院が増えると、国は「病院は自由診療で儲ければ良い」とし、公的医療保険の診療報酬を引き上げなくなります。そうすると高所得者の患者が少ない病院は公的医療保険だけでは、立ち行かなくなります。混合診療を全面解禁した場合、「保険診療の一部負担+保険外の全額自費」になり、将来的には保険外診療が増え、全額自費部分を払えるのは高額所得者のみになり、お金がなければ受診できない患者さんが増加すると考えられます。*日本医師会のホームページから抜粋

規制制度改革や TPP の流れがこのまいくと...



公的医療保険で受けられる医療は最小限に所得額に応じた医療しか提供できなくなる

TPP に関しては、医療だけでなく、問題が多岐にわたっていますが、今回は日本の医療への問題点を中心にまとめました。日本医師会も全面的に反対していることも紹介しましたが、みなさんはどのように考えられますか？「TPP についてよくわからない、もっと詳しく勉強してみたい」という方は、神戸大学・兵庫医科大学の医学生センターで行っている TPP の学習会にぜひ参加して下さい。一緒に勉強しましょう。

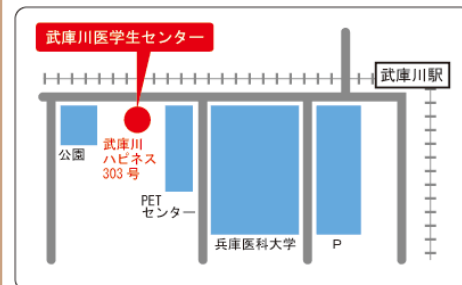
兵庫民医連『医学生センター』紹介

「医学生センター」は、医学生の学びを援助し、医学生同士で交流できるように、兵庫民医連が医学生のみなさんの学生生活を応援するために作った、学生のためのスペースです。神戸大学の大倉山キャンパスから徒歩3分のところに「大倉山医学生センター」、兵庫医科大学から徒歩3分のところに「武庫川医学生センター」があります。

パソコン、インターネット環境、コピー機、医学書等、設備も充実しています。定期的に「ランチタイムミーティング」や「ディナータイムミーティング」を開催し、低学年から高学年まで様々な医学生が医療情勢について学んだり、語り合ったりしています。利用している学生は神戸大学、兵庫医科大学の学生はもちろん、兵庫県外の医学部に通う学生も時々遊びに来てくれています。

現場の医師や医療関係者を招いて、学習会も開催しています。試験勉強やサークルの打ち合わせ、お昼休みの休憩など、使い方はみなさん次第。

「医学生センター」に、一度ぜひ足を運んでみてください。



医学生センター 最近の活動紹介

● 2012年1月27日（金）

医師国家試験を控えた6年生の激励会を行いました。6年生のA君にメッセージを書いた色紙が贈られました。A君からは、低学年のみなさんにむけて臨床の現場を体験してほしいという思いから、「病院実習のススメ」というプレゼンがありました。

● 2012年2月28日（金）

☆震災支援ボランティア学習会☆

神戸大学、兵庫医科大学の学生だけでなく、他県の大学に通う医学生も含めて、17名が参加しました。2月10日に行われた震災支援ボランティアに参加した学生のみなさんから報告をしてもらいました。

● 2012年4月6日（金）

5月19日の中村哲医師講演会で、神戸大学の学生のみなさんから震災支援の報告をしてもらいます。この日は、その発表の打ち合わせを行いました。「自分たちが被災地で何を感じたのか」など震災支援について議論しました。

医療関係から漫画まで



国試頑張れ〜！！



学習会はいつも大盛り上がり



無料のコピー機☆



手作り料理を囲みながら…



これから、T P P、病理・解剖講座、東日本大震災支援活動報告、医学教育、医師のコミュニケーションスキル、etc. 様々な学習会を予定しています(*^*)v

夕食学習会は月1回開催。昼食会は毎週開催しています。お気軽にご参加ください！ (^O^)/

神戸市兵庫区荒田長2-1 楠六パレスビル304

担当 吉岡 090-2049-6197

小林 090-2287-4752



メールは
こちらまで

西宮市池開町3-8 武庫川ハピネス303

担当 福島 080-6206-7628

藪内 080-3775-9568



メールは
こちらまで

SSくんのEUブルガリア プレーベン医科大学在校生レポート

EU加盟国ブルガリア・プレーベン医科大学に在籍する医学生 SSくんのレポート。ではどうぞ！

みなさん、こんにちは。こちらの気候は、数ヶ月前の冬の寒波が嘘のようで、昼は汗ばむ程に気温が上がり、もう初夏といったところでしょうか。さて、2012年度も始まり5年生になって、また色々な科目がスタートし内容は一段と難しくなってきました。今からテストが恐ろしいです(苦笑)。前期からは、小児科・胃腸科・腎臓科・理学療法・熱帯医学・感染症の授業が始まり、2、3年生で一旦終わっていた医療心理学が再開しました。プレーベン医科大学では、合計2年半心理系の授業があり、患者さんとの関係や他職種との連携の大切さを学ぶことに時間をかけているように思います。誰だって大切だと分かっているけれど、ふと忘れてしまいがちな部分を、日々の授業で繰り返し確認出来る機会があるというのは幸せだなあと思います。医学知識と心の豊かさ、医学生はどちらが欠けてもいけないですものね。ところで話は変わりますが、私が日本から戻ると、友人から「やあ、無事進級出来てたんだね、良かった」と言われました(苦笑)。少しゆっくりめに学校に帰って来たので心配されたようです。5年生スタート時の人数は15人。じわじわ減ってきています。入学当初10人近くいた日本人も私1人になってしまいました。半期ごとに進級審査があるので気は抜けませんが、みんなと一緒に頑張って、どうにか食らいついていきたいと思います！

【小児科の紹介】

小児科へ向かう道には、アスレチックジムのような汽車の遊び場があります。基本、病院に来ている子たちなので、あまりここで元気に遊んでいる子はいません。ですが、こういう遊び場があると、やっぱり小児科だなあと(子ども好きな私は)顔がほっこりしてしまいます。



しかし、ここブルガリアは貧富の差がとても大きくジプシーの子どもは「くる病」を患ったり「栄養失調」や「栄養のバランスが悪くて運ばれてくる」人もいます。食べ物が無いわけではありません。成長には定期的な運動や太陽の光を浴びることが必要なこと、野菜を食べずに炭水化物のパンやごはんばかり食べてはダメということがあまり意識されていません。小児科・産婦人科病棟で学んでみて、貧困層に対する教育問題にもっと力を入れる必要があるのではないかと感じました。

【ソフィアの回転寿司】

ソフィアは、ブルガリアの首都です。ここでは日本人が大好きなお寿司を食べることが出来ます。ただ、ちゃんとしたお寿司は首都や大きな都市まで行かないと食べることが出来ません。(右下の写真)ブルガリア人の職人がお寿司を握っています。左奥で座っているブルガリア人2人は隣のお店で買ったファーストフードをもって回転寿司屋にどっかり座って食べています。日本でそんなことしたら、びっくりですね(笑)。覗き込んで2人のファーストフードを撮ろうとするも、そこはチキンな私。断念しました。その他にも「思いがけず見つけた日本酒」「ガリ巻」と色々面白いものを見た1日でした。それでは、また次回のレポートでお会いしましょう。



現在、プレーベン医科大学に通うSSくんは異国の地で勉学に励んでいます。

続々とレポートが届いていますので皆さん乞うご期待！

みんなにとって「学び」とは何か？
考えてみよう！

『Medi-Wave』

白熱教室 第7回



ミンデル教授

今回のお題は

『受験勉強は医学生・医師にとって役に立つか？』

今回でこのお題については最後。まとめをしておこう。

少し難しいテーマだったかもしれないな。

今回はハガキをくれたほぼ全員が「受験勉強は役に立つ」との意見だった。

確かに、どんな勉強も役に立たないことはないのじゃ。

だが、大事なポイントとして、「**学ぶことが面白いと思えるか**」。

学びの中に、面白さや喜び、楽しさといった積極的な感情をもつことが出来るかということじゃ。

医者には生涯「学び」がついてくる。だからこそ「学ぶことが楽しい」という感情がもてるか。一見つまらなくみえるようなことでも興味をもてるかどうかは、とても大事なことなんじゃ。

それから、「学習」についても触れておこう。

「学習」とは、自己実現のために自分を磨くことなのじゃ。

「自分が何をしたいのか」「何をするのが自分らしいことなのか」ということと、そのための「学習」ということが結びついていないと、良い学びにはならないのじゃな。

では、「自己実現」とは何か。

そのことが書かれている『医学部受験の闇とカネ』という本を紹介しておこう。

ぜひ読んでみて欲しい。



では次のお題を発表しよう！

『医師は高齢者の運転免許を返納させるべきか』

少し難しい問題かもしれないが、ぜひ考えてみてほしい。

今回もアツい議論を楽しみにしておる！

返信ハガキにみんなの意見を書いて送って来て
たまえ。

↓ [新聞記事より](#) →

コンビニに車突っ込む 75歳男性「足すべりアクセル踏んだ」 (産経ニュース 2012.1.5)

5日午前8時半ごろ、兵庫県西宮市小松町のコンビニ「セブンイレブン西宮小松町2丁目店」に乗用車が突っ込んだ。この事故でガラスが割れ、店内の棚が倒れて商品が散乱。店内には客5～6人と店員が1人いたが、けが人はなかった。

兵庫県警甲子園署によると、運転していたのは同市内の無職男性(75)。「駐車するためブレーキを踏もうとしたら、足がすべってアクセルを踏んでしまった」と話しているという。駆けつけたコンビニの男性店長(35)は「けが人がいなくてよかった。まさか自分の店でこんなことが起こるなんて」と驚いていた。

高齢者運転者:アクセルとブレーキの踏み間違え事故増加

(毎日新聞 2012年04月06日)

高齢者ドライバーを中心に、アクセルとブレーキの踏み間違えによる交通死亡事故が増えている。警察庁のまとめでは、11年は43件発生し、01年の31件から4割増えた。65歳以上の高齢者でみると、15件から33件と2倍以上になっており、専門家は対策の必要性を訴える。6～15日は春の全国交通安全運動。【山口知、石山絵歩】

愛知県刈谷市では昨年3月、ショッピングセンターの立体駐車場で、男性(当時68歳)が乗用車のブレーキとアクセルを踏み間違え、壁面に激突。男性と助手席の妻(同63歳)の2人が胸を強く打って死亡した。警察庁によると、こうした踏み間違え事故で死亡事故となる割合は昨年、65歳未満では0.23%だったのに対し、高齢者は1.6%だった。中京大の向井希宏教授(交通心理学)は高齢者について「アクセルを間違えて踏んだ後、ブレーキを踏み直す反応が悪いのかもしれない」と推測している。ただ、踏み間違えに関する研究は進んでおらず、詳しい原因は分からないという。

みんなで
作る読者
のページ

どくつぶ DOKUTSUBU



「プレーベン医科大学在校生レポート」でおなじみ☆
SSくんお手製の4コマ漫画が今回から登場！ペンネームは「しろっち」です。

今回の『Medi-Wave』はカラー
だったので、とても嬉しかったです。
ペンネーム スピカ

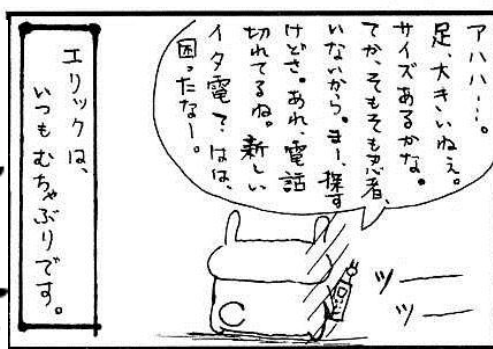
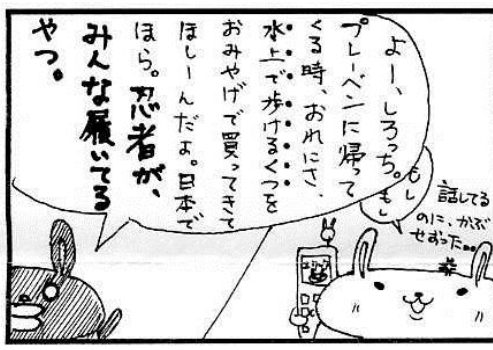
カラーで驚きました！
パワーアップしましたね！！
ペンネーム わらびもち

リニューアルして、すごくカラフル
で見やすい。
カラーなので、手術器具などの写
真を載せてほしいです。
ペンネーム GUMI

そうなんです！『Medi-Wave』念願
のカラー化です！！みなさんにも喜ん
でもらえたようで、私たち編集委員も
とても嬉しいです♪カラー化を活かし
た紙面づくりをしていきたいです。

大雪で、屋根には、まだ雪がのっ
ています。最近暖かくなって、
だいぶとけてきて、家の中にも、
ポタポタと漏れてきて困ってい
ます。ペンネーム キリン

あらら…大変。。大丈夫でしょうか。
最近暖かくなりましたね。すっかり
春です☆気持ちがいいですね！！
みなさん、体調管理には気をつけてい
きましょうね(^_^)



新生活の様子などをお知らせくださいね。
SSくん4コマ漫画の感想もお待ちしています！！
みなさんの「つぶやき」を編集委員一同、楽しみにしています♪
今回のどくつぶ担当は、まりりんでした☆



CROSS - WORDS

1	2	3		4	5		6
7							
				8		9	
10	11		12			13	
14		15					
16						17	18
			19		20		
21							

毎日ぽかぽかした天気の日が増えてきましたね。
外に出ても気持ちがいいですね。
ひなたぼっこしながらのクロスワードはいかがでしょう？
花粉症の方はくれぐれもご注意を。。



網掛けの8文字を並べ替えると答えになります。
正解者には抽選で図書カードを進呈！！

クロスワードの締め切りは2012年5月末日までです(当日消印有効)。

こたえ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

ヒント

医療従事者として大事にしたいですね。

よこのカギ

- 1、韓国の首都。
- 4、「○○○○に欠ける処置」「当事者の気持ちを○○○○する」。
- 7、2本以上をより合わせた糸。
- 8、分けること。分配。分担。市場占有率。
- 10、南アメリカ南部に位置する共和制国家。サンティアゴが首都。
- 12、ほめすぎること。過賞。
- 13、愛媛県中部の市。花がっおの産地。ミカンの生産も盛ん。
- 14、4WD。
- 16、「守」「定」「容」などは○○○○○の漢字です。
- 17、アカ○○、ノギリ○○、ガンギ○○。
- 19、出店で売られているところをよく見るフルーツ菓子。
- 21、丁半ばくちで、壺をふせる所に敷くござ。

たてのカギ

- 1、中国、隋・唐代の均田法下の税法。
給田を受けた丁男(21~59歳)に課したもので、租は粟2石、庸は年20日の労役。
- 2、キュウリ・カボチャ・メロン・スイカなどは○○科です。
- 3、互いに共通点があること。似かよこと。
- 5、海や湖が陸地に入り込んだ所。
- 6、落語・講談・漫才・浪曲などの大衆芸能を興行する演芸場。
- 8、山や野に苗木を植えて林に育てること。
- 9、ファッショングラスやサングラスなど。
- 11、ゲティスバーグの演説で有名なアメリカ第16代大統領。
- 12、北天の小さな星座。7個の星が半円形に並び、冠状をなす。
- 15、植物の肥料の三大要素は、窒素とカリと○○。
- 18、威勢があるという名声・評判。「○○○天下に鳴り響く」。
- 20、クリントン政権の副大統領。地球温暖化問題の活動でノーベル平和賞も受賞。

前号の答えは「ドジョウナイカク」でした





かんたんCooking

* 今回のメニューは、「いたやどクリニック」管理栄養士 さんからのオススメです。

鯉のづけ丼

☆材料(1人分)

	鯉(ブロック状のもの)	80g
★	濃口醤油	小さじ2
		本みりん
★	おろし生姜	小さじ1/4
		ご飯
	白炒りごま	少々
	千切り青じそ	2枚
	薄切りみょうが	適量
	すだち	適量



高蛋白質で低脂肪の食卓!
ボリュームもあり、健康にも良いですよ(^o^)/
とても簡単に作れますよ〜♪

★ 作り方 ★

- ①鯉は刺身よりやや薄く切り、★ア★に10分程度漬け込む。
- ②ご飯に白炒りごまを混ぜ、丼に盛り千切り青じそを敷いて①をのせる。薄切りみょうがと酢だちを添える。
- ③好みで醤油をかける、にんにくのおろし、やまいもとろろをかけたり、アレンジしても美味しいです。

★ 鯉の特徴 ★

鯉は、暖流域の表層にすむ回遊魚で季節によって移動します。そのため、産地や旬も異なり初夏から晩秋にかけて1年で長く食べられる魚です。

生臭いため、今回のように、生姜やみょうがなど薬味を使用した調理法が多いです。

★ 鯉の栄養価 ★

栄養価は高く、善玉コレステロールを増やすEPA(エイコサペンタエン酸)が多く含まれ、糖質をエネルギーに変える時に必要なビタミンB1も豊富にふくまれています。



この春から一人暮らしを始めたみなさんも多いのでは? cooking もがんばってね。応援しています☆



奨学金貸付制度のご案内

兵庫民医連は、卒業後、民医連の医療活動に参加し、地域住民とともによりよい医療を進めたいと考える医学生のみなさんを対象に、奨学金貸付制度を設けています。経済的な援助だけでなく、医療の現場にふれる実習や、全国の医学生とのフィールドワークや交流など、様々な活動を通して充実した学生生活を送るために設置された豊かな学びのための奨学金制度です。

奨学金の月額

1・2年生	50,000円
3・4年生	60,000円
5・6年生	70,000円



◎ 返済の免除について・・・

民医連の病院・診療所で貸与期間と同期間勤務された場合、返済が免除される制度があります。

*奨学金制度について詳しく知りたい方はホームページをご覧ください。資料を送らせていただきます。